

第10回 災害時母子救護研修

家を失った妊婦・褥婦・乳幼児は
どこで生活するか知っていますか？

災害時に環境の変化を受けやすい妊産婦や乳幼児には、適切な生活環境が確保されるように最大限の配慮が求められます。HUG(避難所運営ゲーム)で災害時の状況を模擬体験しながら、地域の実情に合わせた災害時の母子救護の重要性を一緒に考えていきましょう。

オプションコース 医療的ケア児の災害対応

「災害時、この子は普通の避難所じゃ対応できないから・・・」
医療者じゃなくても、地域の方が助けてあげられることはきっとあります。

災害時、何に困るのでしょうか？ どんな助けが必要なののでしょうか？

(株)フラップゼロアルファが作成した動画を用いたシミュレーターを利用しながら、医療的ケア児の災害対応について考えてみましょう。

鳥取大学医学部脳神経小児科 中村裕子

日時：2024年8月11日(日)

- ・避難所運営ゲームで考える災害と避難所：9時～12時(予定)
 - ・医療的ケア児の災害時対応(オプションコース)：13時～16時(予定)
- *午前、午後のどちらかでも参加可

会場：北海道大学病院

対象者：医療・福祉・教育・保育・行政などの支援者(医療知識は問われません)

募集人数：30名程度 参加費：無料

申し込み：下記フォーム、またはQRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/GasaeZ2B9aumSuvt6>

募集期間：2024年6月24日～7月21日

主催：HOPPIE(北海道周生期医療救急支援の会)

共催：一般社団法人WIND(北海道大学産婦人科)

お問い合わせ先：北海道大学病院産婦人科

齊藤 良玄 m010067d@yahoo.co.jp



ホッピーくん

